

## 美し村開拓団入植プロジェクトとは？

過疎や高齢化がすっかり板についてしまった美麻地区...「うちの村には何もねえ」「人が少なくて元気がない」そんな、あきらめムードこそ現代に残された“切り拓くべき未開の地”と考えます。私たちは地域づくり活動を通して、自分たちの手で前向きに楽しく生活できる美麻をつくるため、「美麻で楽しく住みたい！」思いを持つ『美し村（うましさと）開拓団員』を募り地域を元気にしたいと考えています。

美し村開拓協議会 会長 合津富吉

## なぜ必要なの？

### 2053年美麻地区消滅？ 美麻地区存亡の危機迫る！

日本はこれから人口減少時代に突入して行くと言われますが、美麻地区の人口はどうなっているのでしょうか？  
過疎で減少しているとは思っていただけに、たい何人が住んでいるのでしょうか？  
現在の人口は、1107人（平成21年9月1日）となっています。  
大町市となった平成18年1月1日の人口1230人から123人減少しています。  
このままでは、**将来、美麻地区は消滅してしまうかもしれません！**



10年、20年先、子や孫の代に美麻地区を引き継いでいくため **今、必要なのです。**

## 美し村開拓協議会とは

美麻地域づくり会議では、今まで行ってきた地域づくり活動を発展、継続させた地域活性化プロジェクトを検討してきました。その実現に向け地域の活動団体を募り、農林水産省の『農山漁村地域力発掘支援モデル事業』に提案した内容が採択され、平成21年3月に事業の実施主体として持続可能な地域づくりを目指して、『美し村（うましさと）開拓協議会』を設立しました。今後、国の支援も得ながら『美し村（美麻地区）』の活性化に取り組めます。

## ふるさとづくり計画の策定

『ふるさとづくり計画』は、今後4年間（2009年～2012年、平成23年度まで）美麻地区を活性化させていくために必要な事項をまとめたものです。この冊子は、一緒に地域づくりに参加いただきたい皆様に、

## 美し村開拓団入植プロジェクトの概要を紹介するものです。

## 地域で楽しむ！ 訪れて楽しむ！ 地域づくりワークショップ

### [情報の発信]

◇ **住民ディレクター活動**  
地域の情報は自分たちで発信しよう。住民ディレクターチーム『大町美麻テレビ』が、地域の話者をインターネットテレビ等で配信します。どなたでも参加できます。



◇ **インターネットで情報発信**  
いつでも、だれでも情報発信できるホームページ『美麻wiki』を使って情報交流しましょう。

### [伝統文化の継承]

◇ **文化伝承ワークショップ**  
地域の誇り“麻”の文化を後世に伝えるワークショップ。美麻の麻が使われていた講道館伝統柔道畳の復元や、技術や麻にまつわる昔話の継承、麻を繋がりとした交流事業を行います。



◇ **お宝発見ワークショップ**  
地域に眠る資源（史跡、巨木、お祭り、伝説など）を再発見してみよう。

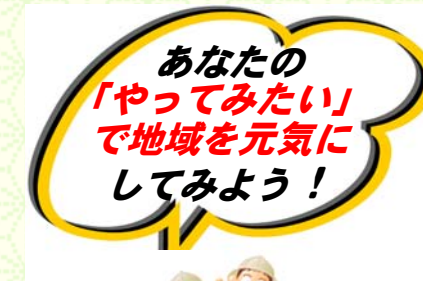
### [交流の促進]

◇ **異質文化交流**  
都市と農村、二地域居住者、国際交流まで、様々な異質文化を体験できるワークショップです。



### [特産品の開発]

◇ **特産品開発ワークショップ**  
新たな特産品開発をしてみよう。企画、開発、製品化、販売まで、どんな特産品に仕上がるか？



### 地域づくりワークショップとは

様々な意味で用いられるワークショップという言葉ですが、この計画では、次のように定義しました。  
①住民が地域の課題解決に向け自ら行う地域づくり活動  
②体験型学習の機会として誰もが楽しめる参加型イベント  
交流をキーワードにして二つのワークショップを一緒に行います。

### [農村風景 / 農地の再生]

◇ **棚田再生**  
永く耕作放棄が続く、棚田をイベントなどで楽しみながら再生してみよう。



◇ **原始農法体験**  
遊休荒廃農地で焼畑などの原始農法を体験してみよう。



◇ **ハチミツづくり**  
日本ミツバチが飛び交う生物に優しい環境をハチミツづくりを通じて考える。



◇ **ホテルの里復活**  
美麻のいたる所ホテルの飛び交う夜の復活をめざすワークショップ

(平成21年11月時点で計画中包含)